



平成29年度 果樹情報 第19号

(平成30年3月26日)

果樹類の発芽状況と発芽予測
福島県農林水産部農業振興課



- 1 気象概況（3月第3～第4半旬：果樹研究所）
3月3半旬の平均気温は7.9℃で平年より3.2℃高く、4半旬が6.5℃で0.9℃高く経過しました。
この期間の降水量は0mmでした。
- 2 発芽状況（果樹研究所）
もも「あかつき」の発芽は3月24日で平年より1日早く、りんご「ふじ」の発芽は3月24日で平年より4日早まりました。

表1 発芽状況

	発芽		
	本年	平年	昨年
あかつき	3月24日	3月25日	3月29日
ふじ	3月24日	3月28日	4月2日

注) 平年は1986～2015年の平均値。

- 3 発芽予測（果樹研究所における3月26日時点での予測）
今後の気温が平年並に経過した場合、なし「幸水」の発芽は3月31日頃で平年より2日早いと予測されます。
なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるので注意しましょう。

表2 発芽予測日 [予測方法：発育速度（DVR）モデルによる発育予測]

	発芽日		今後の気温経過		
	昨年	平年	平年並	2℃高い	2℃低い
幸水	4月5日	4月2日	3月31日	3月30日	4月2日

注) 発芽日の平年は1986～2015年の平均値。

気象庁[営農活動に役立つ気象情報] <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>

- 4 栽培上の留意点
発芽予測日や気象予報を考慮し、せん定、せん定枝処理、誘引及び休眠期防除などの管理作業が遅れないように注意しましょう。
- 5 病虫害防除上の留意点
発芽前の防除は時期が遅れないように注意し、温暖無風の日を選んで確実に実施しましょう。
 - (1) りんご
近年、腐らん病の発生が多くなっています。休眠期の防除を徹底するとともに、発病部は削り取るかせん除しましょう。
輪紋病の発生が多い園等で枝幹にいぼ病斑がみられる場合は防除部を削り取りましょう。
うどんこ病によるボケ芽等はせん定時に除去し、第一次伝染源の密度低下を図りましょう。

リンゴハダニの越冬卵量が多い園では、休眠期の防除を実施しましょう。

(2) もも

縮葉病やハダニ類、カイガラムシ類等に対する休眠期の防除を実施しましょう。また、ハマキムシ類の発生が多い場合には、発芽期から開花期前後に防除を実施しましょう。

(3) なし

黒星病および越冬病害虫に対しては、発芽10日前までに防除を実施しましょう。

(4) ぶどう

晩腐病防除のため、休眠期の防除を徹底するとともに、病原菌が越冬している可能性が高い巻きひげや前年の房の取り残し、結果母枝の枯死部は丁寧に除去しましょう。

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>